

# ふるさとの 其の23 誇り

## 祝三〇〇歳 安藤家住宅 リニューアル オープン!



葺き替え前の安藤家住宅



葺き替え後の安藤家住宅

甲西地区西南湖の細い道に囲まれた一角に佇む安藤家住宅。今からちょうど300年前、宝永5年(1708)に建てられた重要文化財です。

前回の保存修復工事から20年が経過し、建物等の傷みが目立つようになっただため、平成18年度〜19年度にかけて修復を行いました。

修復前の主屋、長屋門の茅葺屋根は、茅を押さえる役目をする押鉾竹が露出するなど傷みが激しかったのですが、今回の修復で綺麗になりました。その他にも、樹齢が300年を超えるといわれる、市指定天然記念物「避雷針の松」の根が成長し、渡り廊下を持ち上げていました。根をいためないよう注意しながら渡り廊下の修復を行い、他にも腐食した板塀、漆喰や瓦等を修復しました。

ところで安藤家住宅の誕生日がどうして分かったのでしょうか。それは、当時の「棟札」が残されていたから

前年の宝永4年には宝永の大地震が起こり、その後富士山が最後の噴火(宝永の噴火)をしています。このとき、江戸まで火山灰が届きましたが、甲府盆地側はほとんど影響を受けなかったそうです。元禄15年(1703)には忠臣蔵で有名な赤穂浪士の討ち入りが起きています。

### お知らせ

4月26日より一般公開しています。安藤家の古い写真や修復風景、端午の節句飾りや約9mの鯉のぼりを展示しています。

開館時間 午前9時から午後4時30分  
(最終入館は午後4時)  
入館料 大人 300円  
小・中・高校生 100円  
休館日 毎週火曜日



主屋の葺き替え風景



板塀の修復風景



茅葺に使う道具



棟札

です。建物の建築や修築のとき、などに取り付けられたもので、大工さんや家の主人が、家内安全や無病息災を願って作られた木の札です。安藤家の場合この棟札に宝永5年と書かれていました。